



国際ロータリー第 2790 地区第 5 グループ  
2025-26 年度 第 27 回例会 (通算第 2717 回) 週報  
2026 年 3 月 11 日 (水)

出席

会員 44 名 出席 24 名 欠席 20 名  
出席率 57.14% (24/42)  
修正前出席率 63.41%  
修正後出席率 78.04%

欠席者【敬称略】

石井・内田(慎)・江崎・大里・金見・叶川・小島・嶋津・四宮・  
鈴木(秀)・鶴岡・濱田・林田・外崎・藤野・堀内・宮寺・  
渡邊(元)

メイクアップ【敬称略】

3/7 2790 地区プラモデル同好会  
堀内  
3/10 第 3 回インターアクト会議  
倉島

例会

■司会進行

副 S.A.A. 加藤智生会員



◆点鐘

吉田和義会長

◆R ソング斉唱

「我等の生業」

◆四つのテスト

藤田洋行会員



会 長 吉 田 和 義  
幹 事 倉 島 和 広  
会報・IT 活用委員会委員長 阪 中 昌 司  
副委員長 大 岩 も え

RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ  
ガバナー 時 田 清 次  
ガバナー補佐 渡 邊 慎 司

◆ゲスト・来訪ロータリアン紹介

吉田和義会長

株式会社Sekken

代表取締役

CTO

こやまようすけ  
小山陽介様  
いながわゆうき  
稲川勇希様

本日のゲストをご紹介します。株式会社Sekkenより代表取締役の小山陽介様、取締役の稲川勇希様のお二人です。本日は船橋からおいでくださいました。プログラムでは稲川様がCTOとなっておりますが、取締役のこのようでございます。株式会社Sekken様は、会社のミッションとして「常に期待以上の本質的な課題解決を提供」を掲げられております。求人サイトを拝見したところ、入社3~4年で700万円との数字があり、うちの会社の従業員には絶対に見せられないと思いました。本日はよろしく願いいたします。ゲストのご紹介は以上になります。

◆誕生日祝い

吉田和義会長

加藤智生会員(2/28)

倉島和広会員(3/7)



◆私の記念日祝い

吉田和義会長

叶川博章会員(3/9)

◆会長挨拶・報告

吉田和義会長



皆さま、本日は3月第2例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。毎年3月の第2例会は欠席と決まっていますが、今回は何とかがんばって努めたいと思います。まず、前回3月4日の例会から本日までの間の出来事ですが、今回は特にご報告すべき事項はございません。

さて昨日、3月10日は私事ながら、息子の中学校の卒業式で

した。会場は中学校の体育館。朝の気温は4度で、まるで冷蔵庫の中にいるような寒さでした。2時間座っているだけで体の芯まで冷え切り、途中からは「これは修行なのか」と思うほどでした。そんな寒さの中で行われた卒業式でしたが、式の途中で思わぬ“ハプニング”がありました。卒業生の男子の一人が、答辞の途中で感極まって大号泣したのです。それがあまりに全力の涙で、周りの卒業生も保護者もつられて大笑い。また、女子生徒が半泣きで「お父さん・お母さん15年間育ててくれてありがとう」と言った瞬間、保護者一同すすり泣き。体育館の寒さを忘れるほど、泣いたり笑ったりの、実に温かい卒業式となりました。あの涙と笑顔を見ながら、私は今日という日、3月11日に思いを馳せました。15年前の東日本大震災。あの日、東北の方々は、私たちが昨日の卒業式で感じた寒さとは比べものにならない、厳しい冷え込みの中で、突然の災害に向き合わざるを得なかったことと思います。避難所の体育館で、暖房も十分でない環境の中、どれほどの不安と寒さに耐えていたのか。昨日の2時間でさえ震えていた私には、想像しきれないほどの過酷さだったと思います。3月11日という日は、私たちに「当たり前前の生活がどれほど尊いか」を静かに教えてくれる日です。そして、困難の中でも助け合い、支え合う人々の姿を思い起こさせてくれる日でもあります。昨日の卒業式で見た、あの大号泣と大笑い。あれは、未来へ踏み出す若者たちのエネルギーであり、周りの人の心を温める力でした。そして東日本大震災で見た、人々の助け合いの姿もまた、未来へ向かう力そのものでした。

私たちロータリアンも、地域のために、誰かのために、少しずつでも力を尽くしていく存在でありたいと思います。今日という日に、改めてその思いを胸に刻みたいと感じています。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

◆幹事報告

倉島和広幹事



1. 第9回理事会報告

出席者 7名

<審議事項>

1) 2026年2月分収支報告の件

→ 承認されました

2) ハイキング例会の件

→ 承認されました

### 3) 例会場変更の件

→ 承認されました

## 2. 幹事報告

1) 次週は休会となります。次の例会は3/25 (水)企業訪問例会((株)鹿島商店)となっておりますのでお間違えのないよう宜しくお願い致します。

### 3. 他クラブからのお知らせ

なし

### 4. その他のお知らせ

なし

### 5. 回覧

なし

## ◆ペットボトルキャップ贈呈 R8.3.10

木更津総合高校米本先生へ



## ◆委員会報告

### ◇ロータリーの友3月号紹介

雑誌・姉妹クラブ担当委員会 遠山誠一委員長



本日3月11日で、あの東日本大震災の発生から15年となります。従いまして、今月号は、地震に関するスピーチ記事が掲載されている縦組みの記事から紹介を始めます。2ページから「南海トラフ巨大地震を乗り切る」と題して、兵庫県立大学教授の木村玲欧(れお)氏の講演内容が掲載されています。日本では、南海トラフ地震、首都直下地震、そして富士山噴火この三つに関してはいつ起きてもおかしくない、特に南海トラフ地震は今後30年以内に発生する確率は最も厳しい想定で

60%~90%程度以上という高い確率が出されており、日頃から災害に関する備えが必要と訴えております。こうした地震発生確率などの情報を集め、事前に備えていれば被害や影響を「想定内」に収めることができる、逆に何も準備や対策をしておかなければ全てが「想定外」となり甚大な被害となるということです。現実的には、想定外の事態はどうしても発生してしまうが、いざという時に備えて想定内に収められる範囲をできるだけ大きくしておくことが重要と述べています。記事の中では避難訓練の継続的な実施、日頃からの防災備蓄品の用意の仕方、地震が起きた時の身の守り方なども詳しく書かれています。自然災害は冷酷かつ残酷です。人々の命や日常を問答無用で根こそぎ奪っていきます。皆さんも、15年前のあの日あの時、何処でどんな経験をしたか、何を見たのかを思い起こしながら、いざという時に備えて、今からできることを考え準備するための今日一日にしては如何でしょうか。

なお、紹介が遅れましたが、縦組みの表紙の絵をご覧ください。この絵は富津中央RCの若鍋武義さんが自然の恵み豊かな富津市を描いた作品です。絵の中ほどから下の部分には鋸山山系が描かれ、その上には富津岬を、そして最上部に対岸の山並みと富士山が描かれています。

続いて、横組みの記事の中から、水と衛生月間にちなんだ特集記事として10、11ページに国土交通省の筒井康美研究官の活動記事が掲載されています。筒井さんはグローバル補助金奨学生としてドイツ・ベルリン工科大学に留学し上下水道を個別インフラとしてではなく都市マネジメントの視点から学び、帰国後は国土交通省の研究所において上下水道分野の海外展開に関する調査研究活動をされているとのこと。

一転して趣が変わりますが、16、17ページには東京山の手RC相撲同好会から大相撲のウクライナ出身力士、大関安青錦関へ化粧まわしの贈呈が行われた記事が掲載されています。このクラブではウクライナ避難民に直接物資を届けるなど人道支援活動を行っていたところに、安青錦関が所属する安治川部屋の親方が例会で卓話を行ったことをきっかけに相撲同好会が発足し制作資金も集めて実現したそうです。化粧まわしは企業の広告目的の要素が強いですが、写真にもあるようにRC相撲同好会の文字が入った貴重な化粧まわしです。RCの非常に珍しく話題性のある活動としてこの記事を紹介しました。今場所は安青錦関の横綱取りがかかる場所で活躍を期待しています。

この他、横組み記事では20ページには当第2790地区の時田ガバナーのインドネシアでの奉仕活動が、35ページには市原中央高校インターアクトクラブ部長の柴田さんのボランティア活動を通じた熱い思いがそれぞれ掲載されていますので、こちらも是非お読みいただきたいと思います。

以上でロータリーの友3月号の紹介を終わります。

◇職業奉仕委員会

青木和義委員長



職業奉仕委員会です。3月25日の職業奉仕委員会の移動例会の件、ご案内の通り、臨時総会が開催されますので、例会のタイムスケジュールを変更します。12時からの食事、12時半の開会は変わりませんが、セレモニーを前回の「たつみ工業訪問」と同じように、15分に短縮します。①点鐘、②ロータリーソング斉唱、③4つのテスト、④会長挨拶並びにゲスト紹介、⑤ゲスト挨拶後、30分間の例会アワーに入ります。13時15分頃から総会になる予定です。以上宜しくお願いします。

◆ニコニコボックス報告 親睦出席委員会 藤田洋行会員



○ 阪中昌司会員

会報・IT活用委員会の阪中です。本日の例会アワーは、株式会社セッケンの小山社長に中小企業におけるサイバー攻撃対策について卓話をして頂きます。是非、セキュリティ対策の参考にして頂ければと思います。

○ 吉田和義会長

株式会社セッケンの小山様、稲川様のご来訪を歓迎いたします。

○ 渡邊慎司会員

第5グループゴルフコンペが5月15日に開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。石田さん、実行委員長、よろしくお願いします。

○ 加藤智生会員

59才になりました。還暦まであと1年がんばります。

○ 倉島和広会員

とうとう年金がもらえる歳になりました。これからも健康に気をつけて生活したいと思います。

◆出席報告

親睦出席委員会 藤田洋行会員

■例会アワー

会報・IT活用委員会 阪中昌司委員長



卓話:「他人事ではない！ 中小企業を狙うサイバー攻撃の実態と今日からできる対策」

株式会社セッケン

代表取締役

こやまようすけ  
小山陽介様



卓話スライド

他人事ではない！  
中小企業 を狙う  
サイバー攻撃の実態と  
今日からできる対策

2026年3月11日  
Sekken Inc.

**Sekken Inc.**  
株式会社Sekken

**事業内容**

- ネットワーク機器の導入・保守**  
企業内ネットワークをより安全に運用し、機密の漏洩から保護。その後の運用保守まで一貫してサポートします。
- IT環境トータルサポート**  
中小企業の「IT部門」として、日々のPC/コンプライアンスからセキュリティ対策まで、IT環境に関するあらゆる問題を解決いたします。

「IT部門」を兼ねてサポート

① 検知 ② 調査・対応・施工 ③ 運用アフターサポート

**小山 陽介 / Yosuke Koyama**  
「IT部門」を兼ねてサポート。中小企業向けにセキュリティ対策を推進し、2020年以降、多くの中小企業が「IT部門」を兼ねてサポート。セキュリティ対策の専門家として、中小企業のIT環境を構築し、運用を支援しています。

**松本 雅史 / Masahiro Matsumoto**  
「調査・対応・施工」を担当。中小企業のIT環境を調査し、問題点を特定し、適切な対策を提案・実施します。また、運用後のサポートも担当しています。

**堀川 勇希 / Yuki Horikawa**  
「運用アフターサポート」を担当。中小企業のIT環境を日常的に監視し、問題が発生した際に迅速に対応します。また、定期的なセキュリティチェックも実施しています。

Philosophy **世の中にポジティブな刺激を**

Vision **「ITのことはSekkenに任せれば大丈夫」と言われる会社**

Mission **中小・ベンチャー企業の頼れるビジネスパートナーになる**

**01** サイバー攻撃は大企業だけの問題ではない  
他人事だと思っている今が最も危険な状態です

**02** 経営者が知るべき3つのポイント  
① 状態を知る ② 怖さを知る ③ 守り方を知る

**03** 今日からできるアクション  
詳しくは別冊。すぐに取られる対策があります。

他人事ではありません

企業の**3社に1社**がサイバー攻撃を経験しています

経験あり **32%**

「うちは大丈夫」と思っていないか？ もはや「遑う前夜」で備える時代です。

出典：総務省「サイバーセキュリティ被害実態調査報告書」

2024年ランサムウェア被害 全体の**約6割**が中小企業

中小企業の割合 **58%**

① 大企業よりも被害件数が多い

「大企業は被害を恐れているから狙われる」は誤解の域。現在は中小企業も被害に悩んでいます。

② 無差別攻撃のターゲットに

攻撃者はツールを使ってインターネット上の被害者企業を自動的に探索しています。結果は関係ありません。

出典：総務省「サイバーセキュリティ被害実態調査報告書」

**01** セキュリティ対策が手薄になりがち  
多くの企業がセキュリティ対策を怠り、OSの更新やバックアップの取捨選択に十分な対応ができていません。

**02** 大企業への「踏み台」として利用される  
狙われる大企業を通過点とするのではなく、先行して中小企業を被害者にして侵入します。自社が被害者にならないように、対策を講じる必要があります。

**03** 「うちは大丈夫」という思い込み  
「狙われるような設備はない」「小さな会社を狙うはずがない」という思い込みが、被害者になる原因の一つです。

感染するとデータを勝手に暗号化し、「元に戻してほければ身代金を払え」と脅迫する。現在最も恐れられているサイバー攻撃です。



**二重脅迫(ダブルエクストーション)**

暗号化されたデータを復元するために「暗号化されたデータの復元に必要な鍵を返す」ことを要求する攻撃手法です。

実例① 2週間仕事がストップ

Case Study 01

被害企業: 清掃会社 東京都大田区

被害PC環境: PC 5台 → サーバー

被害の経緯: 顧客メール → 会社のPC → サーバー被害化

被害内容:
 

- 業務停止: 業務完全ストップ 14日間
- 社会的信用の失墜: 顧客への被害 取引停止のリスク

教訓: バックアップと「入り口対策」が生命線。顧客への手配も重要です。UTM等で侵入を防止、万が一の時にクラウドバックアップが効果的です。

時間の被害

被害までの長い道のり

平均被害日数: 5.8日

最長被害日数: 360日

「業務停止中」の経営へのインパクト:
 

- 最長被害日数では 14日間 完全停止
- 売上: 0円
- 固定費: 100%

被害を最小限にするための「侵入」が鍵

実例② PC1台でも狙われる

Case Study 02

被害企業: 建築施工会社 東京都大田区

被害PC環境: PC 1台

被害の経緯: 攻撃 → 会社のPC → ネット被害に連鎖

被害内容:
 

- 被害: パスワードの使いまわし
- 被害額: 口座から不正送金 1,000万円

教訓: 被害の台数は関係ない「入り口」がある限り狙われる。従業員が少なくても、PC1台でも、インターネットに繋がっている設備がのりこえと狙われるのです。

サイバードミノ (連鎖被害)

サイバー攻撃を受けた企業の約70%が取引先にも影響

サイバードミノの連鎖: 自社被害 → 取引先被害 → 取引先被害 → エンドユーザー被害

被害内容:
 

- 業務停止・納期遅延
- 債権・債権の負担
- 信用の失墜

教訓: 取引先の被害（サイバー攻撃）を防ぐことが、自社の被害（連鎖被害）を防ぐことにつながります。

ニュースになった主な事例

主要事例:
 

- KADOKAWAグループ サービス長期停止
- 大手保険会社委託先 大規模な情報漏えい
- 山形鉄道 ネットバンキング被害

被害内容:
 

- 事業停止・信用低下
- 約6万3,000件漏えい
- 約1億円の被害

教訓: 規模や地域を問わず、一部の攻撃で「取引先信用」に「多数の被害」発生リスクがあります。

対策① まずは体制づくり

中小企業の約7割は「誰に相談すればいいかわからない」状態

68% 相談先不明

セキュリティ対策が最まないうち最大の理由は、「担当者がいない」ことです。まずは「誰が窓口になるか」を決めるだけで、対策は大きく進みます。

体制づくりのポイント:
 

- セキュリティ責任者を指名
- 「ヒヤリハット」の共有

金銭的被害

被害額: 約73万円

最大被害額: 1億円超

直接的な被害:
 

- 身代金・解決金
- 調査・復旧費用
- 顧客の買い替え

間接的な被害:
 

- 機会損失(売上ダウン)
- 損害賠償
- 復旧料の増額

教訓: 参考:実際に紹介した大田区の企業は、1,000万円の被害が発生しました。

対策② 基本の5つ

まずはこれらを徹底するだけで、被害リスクを大幅に下げられます

5つの基本対策:
 

- OS・ソフトを常に最新化
- セキュリティソフト(エンドポイント対策)
- パスワード管理と多要素認証
- 不要なメールへの返信・開封
- UTMの導入(統合脅威管理)

### UTM (統合脅威管理) とは

他にもなら、会社の入り口に「侵入を警戒線」を引かせるようなものです

2024年3月11日  
株式会社Sekken  
代表取締役 小山 剛介

# Thank You!

ご清聴ありがとうございました

## Q&A

本日の内容に関するご質問や、貴社のセキュリティ対策に関するお悩みなど、お悩みのことでもお気軽にご相談ください。

## Next Action

**アンケートのお願い**  
アンケート実施にご記入の上、メッセにお返事ください。今後のサービス改善にご協力をお願いいたします。

**無料セキュリティ診断**  
まずは現状のリスクを可視化しましょう。様々な課題が一気にわかります。

株式会社Sekken  
〒274-0005 千葉県船橋市南4-47-33  
SACKYA 1st Court 4階  
TEL 047-406-5990  
URL: https://www.sekken.jp

### UTMがあると何が違う?

UTMがあれば、立ち回りの事例(ランサムウェア感染)も侵入も防ぐ可能性が非常に高いです。

### 本日のまとめ

- 01 中小企業こそがサイバー攻撃の「主役」  
「大企業の話」ではありません。セキュリティの意識は中小企業が、攻撃者にとって最も効率の良いターゲットとして狙われています。
- 02 たった1台のPCから1,000万円の損失  
会社の情報やPCの数は数限りません。わずか1台の感染からネットワーク全体に広がり、企業の活動を大きく被害に及ぼします。
- 03 被害は「3重」で襲ってくる  
被害は遠征だけでなくあります。「自然災害」に加え、自然災害による「特殊の自然」、そして「サイバー攻撃」が「特殊の自然」の方向に発生します。
- 04 「うちは大丈夫」が最大のリスク  
想像のない安心感や、対策を講じている最大の誤解です。気づかぬうちに被害に遭ってしまっているという危険性を、軽視することになり被害の拡大の一歩です。

### 今日からできるアクション

まずはここから4つのステップ

※ 完璧を目指す前に、まずは「現状把握」から始めましょう

- 01 「うちのセキュリティ大丈夫？」の確認  
まずは現状を把握することから始めます。現状を把握し、必要に応じて対策を行います。
- 02 セキュリティ責任者を決める  
「誰が責任を持って実施するか」を明確にし、責任を分担することでセキュリティを強化します。
- 03 基本5項目を即日点検  
迅速な対応、バックアップ、パッチ管理、ログ管理、セキュリティポリシーの策定と実施を行います。
- 04 専門家へ相談(現状診断)  
現状を把握するだけでは不十分です。プロの視点から現状を把握し、具体的な対策を提案します。

Step 4の「専門家へ相談」について、本日に参加の皆様へ無料のご案内があります



◆点鐘

吉田和義会長

例会日：毎週水曜日 PM12:30～1:30

例会場：オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111

事務局：木更津市朝日 1 丁目 2-29 シグママンション朝日 B 棟 105 号

TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

木更津東ロータリークラブ事務局メールアドレス

[eastkisarazu-rc@nifty.com](mailto:eastkisarazu-rc@nifty.com)